

# 委員会報告

三月一日の本会議において各常任委員会に付託された議案審査は、次のように決定しました。

## 総務常任委員会報告

付託議案及び所管事項について、特に総務費のスローライフ推進事業について、事業の必要性、概念、具体的にどのような事業を行うのか質疑が集中いたしました。これは小城市総合計画の中の戦略プロジェクトにも位置づけられており、まず

付託された八議案については全員賛成で原案通り可決すべきものと決定いたしました。なお、晴田小学校川内分校施設整備

はスローライフの概念を一致させる勉強会とプラン策定について実施することを承認しました。

その他付託された議案について、原案どおり可決すべきと決定しました。

## 文教厚生常任委員会報告

備事業について、利用者も少ない現状であり、むしろ周辺の既存施設の活用をもっと促進するべきであるとの意見が出さ

付託された十一議案については全員賛成で原案どおり可決すべきものと決定しました。

なお、付託議案のうち、特に次の事項について審議がありました。

「平成十九年度小城市一般会計予算」の審議において、道路維持補修事業などについては、工事箇所の新規決定のマニユアル化などを明確にするよう求めました。また、平成十九年度小城市下水道特別会計予算の審議に



▲小城市の文化遺産などがまとめられた「屋根の無い博物館」構想の冊子が紹介されました。

## 産業経済常任委員会報告

付託された三議案については全員賛成で原案どおり可決すべきものと決定いたしました。

なお、「平成十九年度小城市一般会計予算」の審議で、特に今後農業後継者の育成に配慮すること、土地改良区の事務の簡素化・経費削減を図ること、農業関連事業の際

の受益者負担の公平性などについて意見が出ました。

また、「農地・水・環境保全向上対策」について、地域取り組みのための理解を深め事業を促進するために十分な説明が必要であるとの意見が出ました。

## 建設常任委員会報告

付託された十一議案については全員賛成で原案どおり可決すべきものと決定しました。

なお、市内下水道の進捗状況について質疑し、特に小城処理区については今後、新しい処理方法も含め地元で説明を行っていくとの報告がありました。



▲改修が予定されている松尾・横町線松尾橋（小城町）

## 小城市本庁方式移行検討特別委員会報告

市民のくらしにとって庁舎がどこに定められるかは、最大の関心事であります。そのため、江里口市長に議会として庁舎建設について意見を述べるため、昨年十二月、議員の提案により、小城市本庁方式移行検討特別委員会（委員長上瀧政登議員、他十一人）が発足しました。

四回にわたり特別委員会を開き、二月二十三日、南里議長に委員会調査報告書を提出し、江里口市長に「既存庁舎の活用と新築移転を踏まえ、将来の再投資など長期的に、また多様な視点から十分な検討を行い、行政経費の削減を図るべきである」との意見を伝えました。

特別委員会は、合併協議の確認事項など合併後の小城市の現状を踏まえ、特に利便性・危機管理・地域発展・財政の四項目について検討を行い

庁舎建設に当たっては、小城市の財政状況や市民の利便性など、本庁方式移行について、活発な議論を経て、調査報告書が作成されました。



▲小城市本庁方式移行検討特別委員会

